



【大和村】  
大和浜の群倉(ボレグラ) (高倉群)

# 南の躍動

第 1 号



奄美のよさを生かした活力ある教育の充実

大島教育事務所 令和2年5月15日

## 未来を紡ぐ奄美の子どもたちに

大島教育事務所長 松本 遵

暖かな日差しを浴びて、美しい緑の山々が「ようこそ奄美へ」と呼びかけています。車のラジオからは、奄美の方言や話し方で奄美の文化が紹介されています。

自然豊かで、深い愛情を感じるこの奄美で、子どもたちが心身ともに健やかに成長していることに、喜びを感じるとともに、更なる成長に期待を寄せるところです。

さて、本県は、10年後を見据えた教育の姿として、「夢や希望を実現し未来を担う鹿児島の人づくり」を基本目標としています。この目標達成のために、大島地区では、「奄美のよさを生かした活力ある教育の充実」を基本方針とし、その柱に「豊かな心と健やかな体」、「確かな学力の定着」、「開かれた信頼される学校づくり」を掲げています。この3つの柱の実現のためには、各学校において、教職員が一丸となって、主体的・対話的で深い学びによる授業改善に懸命に取り組むとともに、家庭との連携をより一層強化して、「家庭学習60・90運動」の内容の充実を図りながら、特に子どもの「読む力・書く力」を向上させること、さらに、「結いの心」をはじめ豊かな自然や独特の文化、歴史、産業、豊かな人材といった奄美のよさを生かした教育活動を継続的、積極的に展開することによって、「開かれた信頼される学校づくり」に取り組んでいくことが重要です。

本地区は、「子ども宝」（子どもこそ宝であり、財産である）という価値観が根強く残る地域でもあります。学校・家庭・地域が連携して、未来を担う奄美の子どもたちを育てていきましょう。

教育事務所は、今年度7人の職員が転入してまいりました。全職員一丸となって、子どもたちの健全育成を目指して努力してまいります。「活力ある教育環境」をつくるために、128の学校、教職員、12の市町村教育委員会、社会体育・社会教育、文化財関係の団体、島民の皆様方のこれまでと変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いします。

奄美のよさを生かした教育活動【喜界町立早野小学校】



地域のGTから集落ごとに異なる方言を学ぶ様子  
教育課程研究指定校事業（伝統文化教育）

## 「めざせパーフェクト！」

3択で繰り返し取り組むことができ、自主学习に適しています。

大島教育事務所のホームページからダウンロードできます。是非、御活用ください。



## 大島教育事務所ホームページ

大島教育事務所



## 奄美の文化財等 1

### ボレグラ 大和浜の群倉（高倉群）

大和浜集落には、高倉が集まった「群倉（ボレグラ）」と呼ばれる場所が残されています。高倉は主に穀物を貯蔵するための倉庫で、風通しがよく貯蔵物の保管に適しています。釘を一本も使用していない、ねずみの害を防ぐために柱をかねて削り上げ足掛かりがない、火災のときは下部の貴木をはずすと容易に倒すことができる、など趣向を凝らした建物となっています。農家の生活の知恵から生まれたものと言われ、奄美群島で昔のままで残されているのが、この大和浜の群倉です。

## DVD【複式学習指導の進め方ーよりよい授業を目指してー】

大島教育事務所作成の本DVDは、初めて複式学習指導に当たる先生方にとって基礎的な技術を学べるものになっています。

視聴希望があれば各市町村教育委員会にお問い合わせください。



「DVDの映像の一部」

# 令和2年度 大島地区教育推進プラン



大島地区の子どもたちが「なりたい自分になれる」教育の実現を目指して、学校、家庭、地域、市町村教育委員会、各種関係機関、そして大島教育事務所が力を合わせて推進していきましょう。

## 本地区教育行政の 基本方針

## 奄美のよさを生かした活力ある教育の充実 ～令和2年度共通実践事項の徹底～ ※人権教育を全ての教育の根幹に

### 豊かな心と健やかな体

#### 1 いじめ問題への適切な対応

1件でも多く認知する。

3か月が経過した 事案の解消率	小・中学校共に 100%
--------------------	-----------------

#### 2 不登校の未然防止

在籍率	小0.31%以下	中2.20%以下
-----	----------	----------

#### 3 体力・運動能力の向上

目標=次の種目をTスコア50以上に

	小学校	中学校
男子	50m走	ハンドボール投げ
女子	50m走	長座体前屈

\*小…2, 4～6年, 中…1, 2年の平均

#### 4 健康教育の充実

	小学校	中学校
う歯治療率	60%	50%
栄養教諭の活用	100%	90%

### 「確かな学力」の定着

#### 1 学力向上 (R2鹿児島学習定着度調査)

	達成目標	
小学校	各教科 通過率	72%以上
	各教科 県平均+2ポイント以上	
中学校	各教科 通過率	65%以上
	各教科 県平均以上	

#### 2 一人一研究授業の充実(実施した学校の割合)

実施率	小学校95%	中学校92%
-----	--------	--------

#### 3 家庭学習の充実(家庭学習60・90運動の達成学校率)

達成率	小学校90%	中学校85%
-----	--------	--------

\* 小学校は5, 6年(4年生以下は各学校で設定)

#### 4 読書の充実(小学校100冊, 中学校40冊の達成学校率)

達成率	小学校85%	中学校65%
-----	--------	--------

\* 全学年の平均読書冊数

### 開かれた信頼される学校づくり

#### 1 地域人材を活用した自然・伝統文化的体験活動の充実

年3回以上の実施率	小・中学校共に100%
-----------	-------------

#### 2 不祥事根絶に向けての服務指導の徹底

全職員で分担する 服務研修の実施率	小・中学校共に100%
----------------------	-------------

#### 3 学校の業務改善の取組

教職員の8割以上が 「業務改善が進んで いる」と感じる割合	小・中学校共に70%
-------------------------------------	------------

#### 4 学校事務の適正化

## 本年度の重点目標

## 目標達成のための共通実践事項

#### 1 心を育てる教育活動の充実

「人権尊重の理念」を上位に位置付けた学校経営の推進

- 話し合い活動など考え議論する道徳科の授業等の推進
- 人権教育資料等を活用した校内研修の年3回以上の確実な実施

#### 2 いじめ・不登校等の未然防止

～早期発見・早期対応～

- 構成的グループエンカウンターなど年3回以上の人間関係づくりを深める活動の実施
- 「学校楽しいーと」などの定期的な調査での個別の実態把握
- 学校いじめ対策委員会等による組織的な対応

#### 3 運動好きな児童生徒の育成を通じた体力・運動能力の向上

- 教科体育において、自己の適性等に合わせた「身に付けさせたいこと」を明確にし、「個に応じた手立て」を工夫した授業の実践
- 「一校一運動、チャレンジかごしま」等へ積極的に取り組むための手立ての工夫

#### 4 健康教育の充実

- う歯治療率の向上
- 栄養教諭の積極的活用

#### 1 主体的・対話的で深い学びによる授業改善

大島地区全体で目指す「質の高い授業」とは

「授業充実の3ポイントを踏まえた子ども自ら学び取る授業」

#### 目標の明確化 山場の工夫 確かめ見届け

- 諸学力調査結果の経年変化、個別分析による児童生徒ごとの課題把握
- 授業充実の3ポイントを踏まえた授業の充実
- 児童生徒にしっかりと自分の考えをもたせるための書く活動の設定
- 対話的な学びに向かう話し合いなどの充実
- 基礎学力の定着とWeb問題等を活用した思考力や表現力を育む繰り返し学習の工夫
- アクションプランの実践や一人一研究授業の計画的実施による組織的な指導法改善への取組
- 新学習指導要領の研究・実践と中学校における移行措置の完全実施

#### 2 家庭学習の充実

- 授業と家庭学習を連動させた課題の工夫、家庭学習強調週間等の設定による家庭学習への地域を挙げた取組

#### 1 奄美のよさを生かし、地域に開かれた学校づくりの推進

- 地域と学校が連携・協働し、地域の人材を積極的に活用した教育活動の充実と地域への積極的な公開

#### 2 実効性のある服務指導の推進

- 全職員で分担する服務研修の実施及び年2回の参加型・体験型を取り入れた服務研修の実施
- 服務規律に関する目標の設定と取組の充実

#### 3 学校の業務改善の推進

- 定時退校日及び平日週1日・土日のうち1日の原則週2日の部活動休養日の設定と完全実施
- 正規の勤務時間を超える勤務を月45時間以内にする業務の見通し

#### 4 学校事務の適正化

- 学校事務指導の充実
- 事務全般の理解を深めるための効果的な研修の実施

## 生徒指導の充実を目指して ～子供の心に寄り添って～

臨時休業等の影響で、児童生徒は精神的なストレス等を抱えていることと思います。可能な限り個別に状態を把握し、寄り添いながら組織的に支援・指導し、今年度の生徒指導を充実させていきましょう。

### いじめ対策について

「いじめはいつでも、誰にでも起こりうる」という認識の下、些細なことでも積極的に認知し、早期に対応しようとする姿勢が重要です。学級間や学年間で姿勢に差が生じないように、組織として確実に対応しましょう。

### 不登校対策について

気になる児童生徒の「できる」(こと、場所、時間、人など)を意識した支援を充実させるために、学校内外の様々な人を介してチームで関わり、専門機関等との連携を図りながら、個に応じた支援を充実させましょう。

